



electronica India



productronica India



Messe München

ファイナルレポート

国際電子部品・アセンブリ・マテリアル専門見本市
国際電子部品製造技術専門見本市
インド・ニューデリー / プラガティマイダン
2017年9月14日～16日

2017年9月19日

インド・ニューデリー開催の

electronica India、productronica India にエレクトロニクス業界が集結

Summary

- 記録更新が示す業界の重要性:
前回のデリー開催時と比較し、来場者数が24%増加
- 参加者に有益な併催プログラム:
好評を博した Advantage India、e-オートモーティブ会議、CEO フォーラムとインド PCB テック会議
- e-オートモーティブ会議で、インドにおけるカーエレクトロニクス産業の新しい市場調査レポートを発表

Facts & Data

会 期	2017年9月14日(木)～16日(土) 午前10時～午後6時
会 場	インド・プラガティマイダン Pragati Maidan
主 催	Messe München - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen India Pvt. Ltd. - メッセ・ミュンヘン・インド
出 展 企 業	455社(2016年:452社)
来 場 者 総 数	19,028人(2016年:17,968人)
主 な 出 展 品	<electronica India> : 半導体、センサー、リレー・スイッチ・配線技術、受動部品、 モーター・駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、ED/EDA、検査・測定技 術、ディスプレイ、電源装置 <productronica India> : 電子部品製造、一般業務支援・製造サブシステム、 PCB 及びその他電気回路用製造装置及びロジスティック、ケーブル加工技術アセ ンブリ・モジュール・ハイブリッド用製造装置及びロジスティック、材料加工、パッケー ジング、製造関連サービス、はんだ付け技術
出展日系企業 (公式出展企業として登 録されている企業のみ)	アポロ精工(株)、(株)イトー、SMK(株)、NKK スイッチズ(株)、オカノ電機(株)、オリンパス (株)、川崎重工業(株)、北川工業(株)、協立電機(株)、(株)弘輝、佐鳥電機(株)、(株)ジャパニュ ニックス、JUKI(株)、(株)シンキー、進工業(株)、双日(株)、太陽誘電(株)、タツタ電線(株)、第 一精工(株)、(株)電波新聞社、DOWA メタルテック(株)、トルーソルテック(株)、(株)ニコン、 ニチコン(株)、日本アビオニクス(株)、日本オートマチックマシン(株)、日本航空電子工業 (株)、(一社)日本電子回路工業会、(社)日本半導体製造装置協会、パナソニック (株)、浜松ホトニクス(株)、(株)日立製作所、ヒロセ電機(株)、富士機械製造(株)、富士通エ レクトロニクス(株)、マイクロクラフト(株)、武蔵エンジニアリング(株)、ルネサスエレクトロ ニクス(株) 他
専 用 U R L	www.electronica-india.com / www.productronica-india.com

2017年9月14日～16日ニューデリーにて開催された electronica India と productronica India は、電子部品、システム、アプリケーションとエレクトロニクス製造技術のインド最大市場としての地位を証明した。この見本市は、併催プログラムにおけるトップクラスの会議内容と、非常に国際色豊かな出展社で来場者に好印象を与えた。

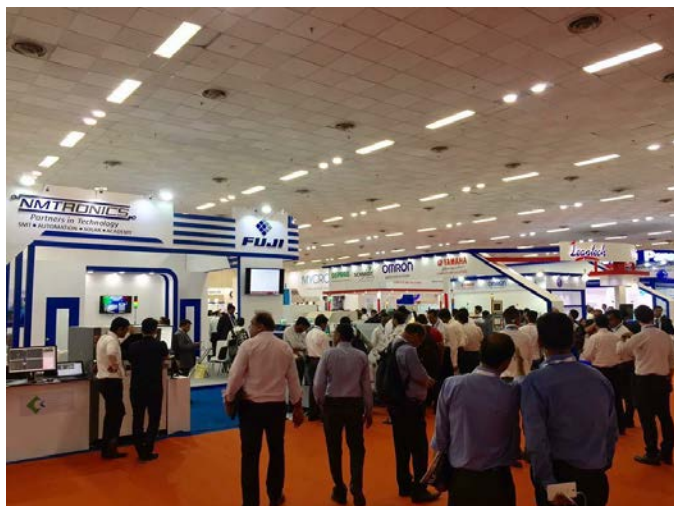
17カ国から455の出展社が2万平方メートルにおよぶ展示スペースを埋め尽くし、エレクトロニクスのバリューチェーン全体における最新動向とトレンドを紹介した。3日間で19,028人がプラガティマイダン展示場を訪れ、そう来場者数は前回のデリー開催時に比べ24パーセント増となった。



メッセ・ミュンヘン・インド 最高経営責任者の Bhupinder Singh はこの結果に喜び、このように述べた。「electronica India と productronica India は大成功を収め、インドにおける業界の重要性を明確に示した。参加者は、この見本市および併催プログラムに非常に満足していた」

出展社の大多数が参加目標を達成し、この見本市を称賛した。ルネサスエレクトロニクス社、シニアディレクターの堤敏之氏は次のように話した。「見本市はとても活気に満ちていた。現在インドのエレクトロニクス業界は好調で、electronica India に参加することで多くのビジネスチャンスを得ることができた」

ASM (Assembly Systems Singapore Pte Ltd.) 社、Lim Khooon Heng 氏も反響を喜んだ。「今年はより多くの来場者に会うことができた。実際に、昨年バンガロールよりも反響が良かった。さらに多くの顧客や取引相手を獲得また拡大することを期待し、当社はこの見本市に参加した」



見本市と会議での数々のイノベーションと広範囲なテーマ

出展社は見本市で最新の技術進歩を展示した。中国、ドイツ、シンガポール、台湾およびイギリスをはじめとした多くの国がパビリオンを設置し、その業界におけるイノベーションについてグローバルな視点を来場者に提供していた。様々な併催プログラムも、参加者にさらなる価値をもたらした。インド全土からの意思決定者が、このような学習およびネットワーキングをする機会を利用した。

プログラム例：

- 「Advantage India Summit」

様々な重要な方策と構想を取り上げ、エレクトロニクス業界内での成長を促進するための投資とネットワークの機会を提供

- 「e-オートモーティブ会議」

成長するインドのカーエレクトロニクス市場におけるエコシステム構築についての議論の場を設けた

- 「CEO フォーラム」

思想家トップが集まりインドの ESDM 分野のために前進する方法について協議

- 「インド PCB テック会議とパビリオン」

PCB 産業におけるエコシステムを集め、PCB サプライヤーに新技術を紹介またプラットフォームを提供

オートモーティブエレクトロニクスの市場調査レポート

インドにおけるオートモーティブエレクトロニクス産業の状況を捉えるため、メッセ・ミュンヘン・インドが初めて市場調査レポートを専門機関に依頼した。e-オートモーティブ会議にて発表されたレポート「2020年の展望と可能性：インドのオートモーティブエレクトロニクス産業」には、オートモーティブエレクトロニクス産業における好機と、エレクトロニクスの役割のさらなる高まりについて記されている。

ビジネスの仲介：バイヤー・セラーフォーラムと B2G フォーラム

バイヤー・セラーフォーラムなどのネットワーキングプログラムは多大な関心を集め、多くが参加した。最高意思決定者と出展社のフェイスツーフェイスミーティングが行われた数は 1,200 を超えた。



Singh は次のよう締めくくった。「この見本市は、エレクトロニクス分野に深く根付いている。我々は毎年、知識豊富な会議と広範囲な技術に参加者に提供している。次回 4 回目となる electronica India と productronica India は、継続してインドにおけるエレクトロニクスコミュニティを強化すると確信している」

次回の electronica India、productronica India は 2018 年 9 月 26 日から 28 日にかけて、インド・バンガロールのバンガロール・インターナショナル・エキシビション・センターにて開催される。

見本市の詳細情報並びに写真は、専用ホームページをご参照ください：

electronica India: <http://electronica-india.com>

productronica India: <http://productronica-india.com>

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)